

伊豆シャボテン動物公園

当園初！希少動物「オグロマーモセット」

夜行性動物「ショウガラゴ」が新しく仲間入り

この度、伊豆シャボテン動物公園では、希少動物「オグロマーモセット」2頭と夜行性動物「ショウガラゴ」2頭が新しく仲間入りいたしました。わくわくモンキーハウス1階展示場にてかわいらしい姿をご覧ください。

オグロマーモセットは、(公社)日本動物園水族館協会に加盟している園館では千葉市動物公園のみ飼育展示されている大変希少な動物で、当園での飼育・展示は初となります。昼行性の小型のサルで、耳に房毛はなく、名前の通り尾が黒いのが特徴です。妊娠期間は、140～150日で、1回の出産で通常2頭を産みます。仔が産まれると授乳時は母親が抱き、それ以外の時間は父親やきょうだいが積極的に育児に参加して家族全体で子育てをします。野生では、主に熱帯雨林に生息し8～13頭ほどの群れで生活し、雑食性で、木の葉や樹液、果実、昆虫や小動物などを食べます。今回仲間入りした「オグロマーモセット」は、2014年3月17日生まれの雄と○2013年3月16日生まれの雌で、仲良くぴったりと寄り添う姿をご覧ください。

ショウガラゴは、夜行性の小型の原猿類で、目と耳は大きく、体毛は銀灰色から褐色で、厚い毛に覆われております。尾は樹上でバランスを取るために長く、後ろ足が発達しており、3mほど離れた木に飛び移るなど並外れた跳躍力を持っています。特に聴力は優れ、小さな音でも聞き分けることが出来ます。妊娠期間は、120～140日で、1回の出産で通常1～2頭を産みます。野生では木や茂みのある場所に生息し、単独や社会性のあるグループで生活し、野生では昆虫を好んで食べますが、雑食性で、木の葉や果実、小動物などを食べます。今回仲間入りした「ショウガラゴ」は、2頭は2016年3月16日生まれと2016年7月13日の雌の子供で、仲良くじゃれ合う姿をご覧ください。

今後も伊豆シャボテン動物公園では、新しい動物たちの情報を積極的に発信してまいります。

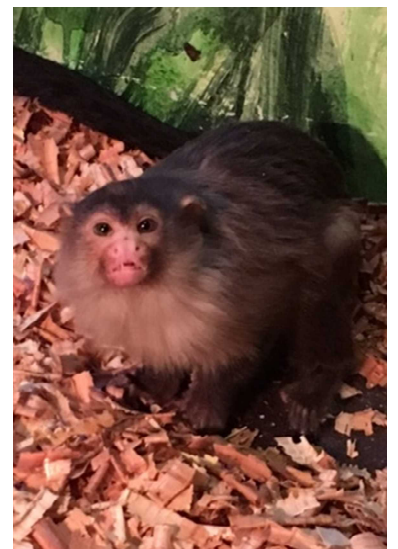
【ショウガラゴ】

- 英名：
Senegal bushbaby
- 学名：
Galago senegalensis
- 分類：
霊長目 ロリス科
- 分布：
アフリカ中部以南
- 形態：
体長15～20cm
尾長20～25 cm
体重200～300g
- 餌時間：10：00 頃



【オグロマーモセット】

- 英名：
Black-tailed marmoset
- 学名：
Callithrix argentata
- 分類：
霊長目 オマキザル科
- 分布：ボリビア東部～ブラジル中央部
- 形態：
体長20～30 cm
尾長30～40 cm
体重300～400g
- 餌時間：10：00 頃、
15：00 頃



伊豆シャボテン動物公園